

ボブテックスフローアの施工方法とメンテナンス

施工の前に

■ 下地の点検

■ 割り付け 墨出し

■ 材料保管

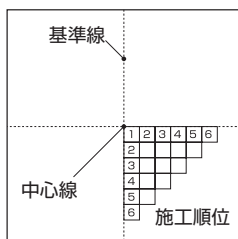
■ 材料確認

■ 養生

- ①平滑さ、②乾燥、③強度、④汚れを点検します。
- 施工現場を実測し、割り付け図をもとにして、割り付け、墨出しをします。
- 材料保管の善し悪しによって仕上がり状態が左右されます。
 - ①乾燥した平坦な室内に保管し、直射日光は避けてください。
 - ②室内温度10～25℃、湿度75%以下での保管が最適です。
- 品番・ロット番号・数量を確認し、同一場所に他のロットのものが混在しないようにしてください。
- ①平滑さ、②乾燥、③強度、④汚れを点検します。
- 10℃以上に保たれた室内の平滑な場所でタイルを箱から取り出して、表面を上にして1～2日程度積み重ね、クセを取り除いてください。特に冬季はクセが取れにくいので、必ず箱から出してください。

施工手順

- 1 施工する部屋の中心を基準にして、直角に交わるタテ、ヨコの基準線を墨出しし、部屋を4区分します。出入口、廊下、壁面などには極端に小さなカットが入らないように、中心点を調整して割り付けてください。
- 2 基準線に沿って基準タイルを施工します。
- 3 施工はピラミッド工法のようにすすめてください。

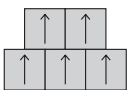


- 4 製品によって流し貼り又は市松貼りにて貼ってください。流し貼りも可能ですが、流し貼りの場合柄はつながりません。
 - ※必ずウマ貼りで施工してください。
 - ※流し貼り（ウマ貼り）でも角度により一枚ごとに見える場合があります。

1621 Grid SERIES
1625 Nebula SERIES



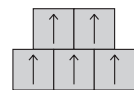
流し貼り



流し貼り(ウマ貼り)



市松貼り



流し貼り(ウマ貼り)

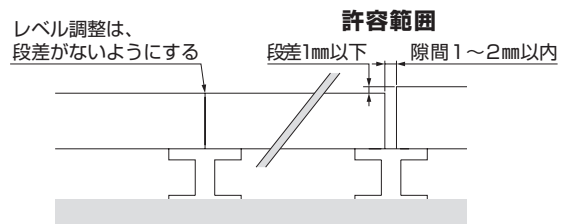
- 5 同一場所は同ロットの製品で施工してください。施工前に必ず品番、ロット番号、数量を確認してください。
- 6 目違い修正は、圧着する前に修正してください。
- 7 接着剤が硬化するまでは、温度変化や直射日光は避けてください。
- 8 壁際などの端部は、隙、浮きのないように納まりよくカットし、ハンドローラー等で入念に圧着してください。圧着不良は接着不良につながり、後日床タイルの反り、突上げ、剥がれなどが生じる事があります。
- 9 下地や施工場所によって、適した接着剤の選定をお願いします。

⚠ 注意

目地ズレが発生した場合は、ズレが大きくなる前にタイルをカットし、目地調整をしてください。

二重床（OA下地）に施工する場合の注意点

下地パネルの段差は1mm以内、隙間は1～2mm以内になるよう、レベル調整を正確に行ってください。



- 10℃以上の室温になじませてから施工してください。
- 調整ラインを設定し、目地ズレを修正してください。
- タイルのつめすぎは、突き上げの原因になりますのでご注意ください。
- パネルの目地をまたぐ様に施工します。パネルの目地とタイルの目地が重ならない様タイルをカットし、目地を調整してください。
- 目地が重なると目地スキ、段差などが発生する原因になりますのでご注意ください。

正方形タイプ（500mm×500mm）

